



日本の滝百選



広報

かじき

人口・世帯の動き
(平成9年12月1日現在)

総人口23,507人(17) 出生 17人
男 10,893人(6) 死亡 19人
女 12,614人(11) 転入 85人
世帯数 8,726 (9) 転出 66人

※()内は前月との比較※

題字 宇都宮町長



〔朝露の山茶花(サザンカ)〕

平成9年

12月号

今月のページ

龍門陶芸・健康の里	2~3ページ
障害者福祉計画	4~5ページ
各種イベント	6~8ページ
叙勲・表彰	9~11ページ
寄付・まちの話題	12~14ページ
ストーブの取り扱い	15ページ
悪徳商法にご用心	16ページ
がんばっています	17ページ
リックのさくさく・棕鳩十	18~19ページ
お知らせ	20ページ



雇用促進住宅
入居開始は
平成11年度

住民の心と体の 健康づくり総合施設

加治木龍門陶芸・健康の里

施設・整備に着手

一、加治木龍門陶芸・健康の里
余暇時代の到来とともに、アウトドア活動や自然と親しむ機会が増え、今後、少子・高齢化時代を迎え、健康づくり、生きがい学習等への余暇時間に対する潜在的ニーズが高まってきています。

加治木町では、さまざまな自由時間活動への参加や学習の機会を確保しながら、若者から高齢者までの幅広い人々に利用していただくために、心身両面にわたる総合的な教養・健康・スポーツ施設の整備に着手しました。

古薩摩の伝統を守る龍門司焼を継承している小山田地区の特性を活かして、歴史の認識を深めるとともに、住民の心と体の健康づくりをはかるため、龍門司焼体験館・管理研修棟・健康センター・多目的広場をもつ「加治木龍門陶芸・健康の里」の整備を行います。

(1) 龍門司焼体験館
登窯や、陶芸研修室を備え、陶芸体験を通して、創作意欲と

交流・情報交換の場とし活用する建物です。

(2) 管理研修棟
複数の研修室を備え、各種生涯学習講座、健康づくり講座等に活用する建物です。

(3) 健康センター棟
トレーニングルーム、多目的ホール、小プール等を備え、各種健康づくり講座や、運動不足解消、ストレス解消をねらいとして活用する建物です。

(4) 多目的広場
各種の軽スポーツ等を通して体の健康づくりに活用する広場です。

屋根付きゲートボール場も備えています。

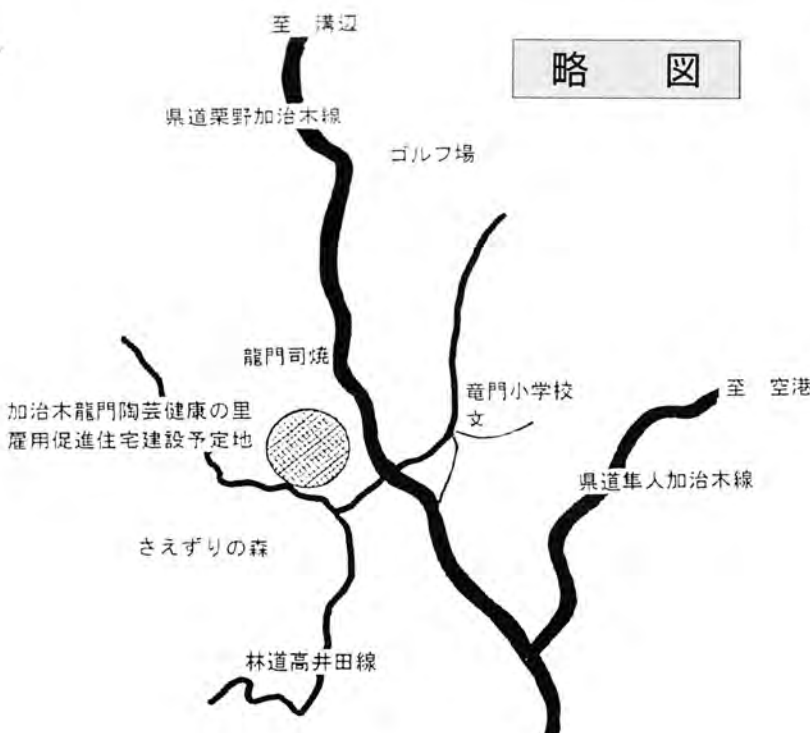
二、雇用促進住宅建設

労働省・雇用促進事業団が設置する「雇用促進住宅」が、平成九年度から平成十一年度にかけて、三DK六戸×五階建の一棟三十戸が二棟、計六十戸で建設されることが決定しました。本町をはじめ、周辺市町の民間企業に勤務する移転就職者を主

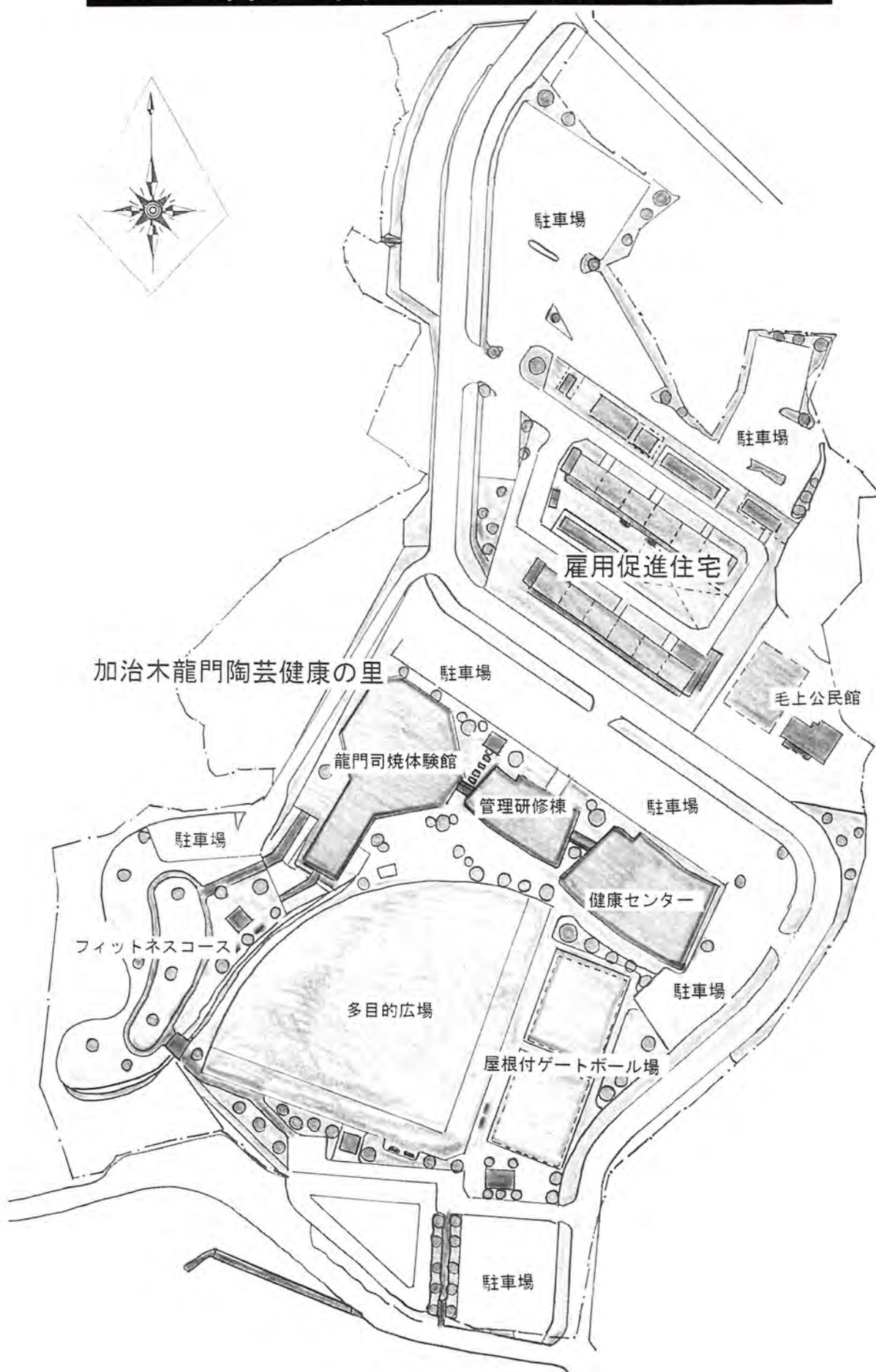
な対象とした住宅で、所得制限はなく、雇用保険に加入している世帯なら誰でも入居することができます。
入居開始は、平成十一年度中になる見込みです。
加治木町では、上場地区を総合的に活性化させるため、これら

の施設と既存の高岡公園やさえずりの森キャンプ場を有機的に結ぶ連絡道路でネットワーク化し、総合的に利用できる施設として整備し、「新しいふるさと」を創造する交流拠点「加治木」づくりを推進していきます。

略 図



加治木龍門陶芸健康の里及び雇用促進住宅 計画平面図



加治木町 障害者福祉計画

超高齢化社会を迎える中で、高齢の人も含めて、心身に障害を有する人が自立して生活し、積極的に参加していくことができる社会を構築していくことが重要であります。

これまでは、ともすれば主として、健常の人の利用を想定した住宅や社会資本整備が行われていましたが、これからは、だれもが必然的に老いを迎え、障害をもつ可能性を有するものであるという認識に立って、障害を有する人が、障害を持たない人と同等に生活し、活動できる社会をめざす「ノーマライゼーション」の理念の実現を図っていくことが求められます。

今回、障害者対策の一層の推進を図ることを目的に、国、県が作成した「障害者対策に関する新長期計画」を基本として、本町の障害者の状況等を踏まえ長期的視点にたった障害者計画を策定することとしました。



手話講習会（年30回）



計画の点訳本は図書館に

基本理念

障害者を取り巻く環境は、過疎化や高齢化の進行、障害の重度化、重複化等大きく変化してきました。その中で、加治木町における障害者の現状を踏まえ「リハビリテーション」及び「ノーマライゼーション」の理念のもと「完全参加と平等」の目標に向けて、障害者福祉の一層の推進を図ることを目的に策定されました。

基本方針

この計画の目指すところは、障害者が障害を持たない人と同じように住み慣れた家庭や地域で生活し、様々な社会活動を行うことができる「ノーマライゼーション」の理念に基づく社会を作ることにあります。そのためには、障害者自身が主体的に自立した意志を持ち、社会経済活動に積極的に参加していくとともに、町民一人ひとりが障害や障害者についてさらに理解を深め、障害者とともに暮らす社会づくりを推進していかなければなりません。

この計画では、以上のような考えのもとに次に掲げる施策を推進していきます。

(1) 障害者の主体性・自立性の確立

障害者自身が主体性、自立性を確保し、社会活動へ積極的に参加し、その能力を十分発揮できる施策の推進。

(2) 障害者や障害者に関する正しい理解と促進

障害者は、障害のない人と同じ社会の構成員であり、障害者の問題は、すべての人々自身の問題であるということの、町民に対する啓発活動や福祉教育の推進

(3) すべての人に平等な社会づくり

障害者が住みよいまちは、すべての人々にとっても住みよいまちであるので、障害者があらゆる社会活動に参加できるような生活環境の整備

(4) 安心と生きがいの持てる暮らし

保健・医療・就労・在宅福祉対策などの充実及びレクリエーション、文化活動などを推進し、住み慣れた地域で生きがいをもち、安心して暮らせる社会づくりの推進



点字講習会（年20回）



重心野外研修（年2回）

(5) 障害者の高齢化、障害の重度化、重複化への対応

障害者の高齢化、障害の重度化、重複化が進んでいることから、高齢者対策と一体となった施策の充実を図り、社会の一員として生活が営めるよう教育や雇用など施策の推進

(6) 障害の発生予防、早期療育、自立促進

障害発生予防のための対策を進め、なんらかの理由で障害を持った方については、早い時期からのリハビリテーションなどの訓練を実施し自立促進を図る。

施策の推進

障害者対策は、福祉・保健・医療・教育・雇用・生活環境等、幅広い分野にわたるため、関係機関等と密接な連携を図り、分野別施策の基本的方策により統合的に推進しています。

※ 「加治木町障害者福祉計画」及び「計画の点訳本」については、加治木町立図書館に配布してありますので、目の御不自由な方も御利用ください。
また、計画の「概要版」も作成してありますので、御希望の方は、福祉課までお申し込みください。



力作一堂に集め展示

=加治木町文化交流週間=



すばらしい字ですネ

芸術の秋を十分に楽しんでもらおうと十月三十日から十一月三日までの五日間、「平成九年度加治木町文化交流週間」と銘打って、色々な催し物が加音ホールを中心に開催されました。

***町美術展**
町内五小学校と中学校・養護学校の児童生徒の作品六百一品（硬筆・毛筆・絵画・デザイン・工芸工作等）を展示。

***文化協会展**
写友会・花実短歌会鹿兒島支部・山茶花加治木短歌会・加治木竜門俳句会・書芸クラブ・加治木萌芽会・フローラルヴィラが、日々の成果を展示。

***かじの木大学講座同好会展**
盆栽・手芸・生花・書道・絵画・七宝焼・フラワーアレンジ



藤田さんの講演

メント講座で作成した作品を展示。

***であいふれあい展**
在宅の障害者や南九州病院筋ジス病棟・加治木望学園・牧之原養護学校・吉田町のこひつじ園の療養者の絵画・書・工芸品等を展示。

***棕鳩十・没後十年特別展**
常設展示室を模様替えし、違った角度から棕鳩十を紹介。棕鳩十文学記念館で11月6日まで

***生涯学習推進大会**
「生きがいのある人生と明るく豊かな町づくりを求めて」をテーマに開会行事。加治木町くも合戦保存会と木田大字（馬蹄り伝承）に表彰状授与、生涯学習のあゆみをスライドで紹介。



女性のあこがれ？

女優・藤田弓子さんを迎え「いつも何かにときめいていよう」の演題で講演会

***文化祭**
日舞・バレエ・民謡・民謡・ダンス・太鼓・合唱・三味線・剣舞・琴・大正琴・吟道など日ごろの練習の成果を披露。

町美展特別賞入賞者（敬称略）

▼町長賞
毛筆 浜崎麻未 加治木中
工作 村山智香 竜門小

▼町議会議長賞
毛筆 竹原亜矢子 加治木中
工芸 柄本直子 加治木中

▼町教育委員会賞
毛筆 木佐貫知子 加治木小
絵画 西濱春香 柅城小

▼南日本新聞社賞
毛筆 西濱ともみ 加治木中



すばらしいバチさばき

絵画 新福太郎 錦江小
▼町商工会長賞
毛筆 田平隆介 柅城小
絵画 増田竜至 養護学校

▼農協賞
毛筆 新慶介 柅城小
工作 川口貴司 錦江小

▼南日本書道会賞
硬筆 久保日香梨 加治木小
硬筆 加藤亮 加治木小
毛筆 森田奈緒 柅城小

▼始良地区美育協会賞
絵画 太田みき 竜門小
工作 高橋一政 竜門小
工芸 島幸太郎 加治木中
郷土絵画入賞者
▼ロータリー賞
幼稚園 たなかゆうじ 加治木幼
小学校 畠中弘樹 加治木小
中学校 市蘭侑奈 加治木中

おめでとうございます。

子どもたちも声高らかに歌った

椋鳩十・追悼音楽会

「椋鳩十・没後十年特別展」の最後を締めくくり十一月十六日、加音ホールで「椋鳩十・追悼音楽会」が開催されました。

これは、先生の教え子で町出身でもある鹿兒島短期大学教授の池端ミチ子さんと、加治木高校卒業生で東京在住の作曲家・田端範子さんが発起人となり、先生の残された、多くの人に親しまれている短詩型の「作品に曲をつけ、永遠に歌い継いでいこう」と披露を兼ねて行われたものです。

まず、全員で椋さんと四日に亡くなられたみと子夫人に黙とうを捧げ、宇都宮町長と長野県喬木村椋鳩十記念館長・市瀬尚夫さんが挨拶。

ビデオで「椋鳩十の生涯」を鑑賞した後、先生の詩に田端範子さんが曲をつけた一曲を「コール・のぼら」が混声合唱で、「池端ミチ子」さんはソプラノで、また「リラの会」(渡辺典子・法元隆男さん)がそれぞれ独唱で聞かせてくれました。また、追悼音楽会のために特別に編成された「加治木児童合

唱団」三十人のコーラスも披露され、十一曲すべてを聞き終えた多くの人は、思いを込めた

美しい歌声におしめない拍手を送っていました。

池端さん



田端さん



木下さん



美しい歌声にうっとり

御霊よ安らかに眠れ

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は十一月十八日、遺族や来賓などおおいの方々が参列して福祉センターでおそかに営まれました。

宇都宮町長の式辞の後、遺族代表の越牟田頼子さんが「夫が戦死してからの五十三年は、あまりにも長い歲月でした。若かった私どもも、平均年齢が八十三歳を超え名実共に年寄りにな

ってしまいました。けれど互いに励まし合って、平穏な毎日を送っております」と追悼のことばを述べると会場からは目頭を押さえる姿もみ受けられました。遺族らは一人一人名前を呼ばれ、慰霊塔の前に作られた献花台に夫を、父を、いと子をしのかのように白い菊の花を捧げていました。



式辞を読みあげる宇都宮町長

多彩なイベントで賑わり

天気があやぶまれた十一月十六日、役場グラウンドで第十九回「かじき秋まつり」が開催され、大勢の人々が秋の一日を十分に楽しみました。

この日は、十時から販売される各種農産物や、花などの鉢物を買求めるため約二千人余りが町内外から集まりました。

九時三十分、林敏克・実行委員会副会長の開会宣言で幕を開け、会長の宇都宮町長が挨拶。

農林産物品評会優秀作品や、料理コンテスト、二百六十二人の応募があった作文・絵画優秀作品の表彰式があり、作文の部で

みごと金賞に輝いた永野由佳さん（加治木小四年）が「大事にしたいな、自然」と言う題で作文を披露しました。

ステージでは柁城小金管バンドによる演奏や、各婦人部による舞踊十曲が披露され、きらびやかな舞台に食い入るように見入っていました。またイベント広場では、錦江幼稚園児の遊戯や、あいがもレース、ホールインワン大会、コーラ早飲み大会などおなじみの競技も行われ、親たちの盛んな声援をうけてい

ました。

また、今回から新たに竹馬競争や、空き缶を積み上げていく（天まで届け大会）皿から皿に大豆を箸で移しかえていく（おもちやいっもはん大会）など登場し、子どもから大人まで大いに楽しんでいました。

農林産物品評会金賞

▼葉菜の部：内村利夫・富永ヒサエ▼軟弱野菜の部：隈原シヅ子▼根菜の部：西村幸代・榎田洋一・（人参の部）福森トシ子▼果樹の部：永元政美▼水稻競作の部：西村照雄

作文・絵画優秀作品

▼作文の部
金賞・永野由佳（加治木小四年）
銀賞・徳部 愛（竜門小六年）
銀賞・内村友香（竜門小五年）
銅賞・東村祐希（錦江小五年）
銅賞・永元勇輝（竜門小四年）
銅賞・竹下祐馬（加治木小三年）
▼絵画の部
金賞・原田政貢（竜門小六年）
銀賞・太田真人（竜門小三年）
銀賞・今村佐保里（永原小三年）
銅賞・和田ちひろ（錦江小五年）
銅賞・本松幸浩（竜門小四年）
銅賞・岩崎一馬（永原小一年）



なかなか走ってくれません



美しいおどりです



売れに売れまくりました



ボンボン何個つれたかな？



島の踊りに見入る人々



お正月用品の予約してます

かじき秋まつり

秋の褒章・叙勲受章

加治木町から2人

勲五等 双光旭日章

原口一郎さん^{赤坂} (73)



原口一郎さんは、昭和二十五年四月福岡の法務局を皮切りに昭和五十八年三月鹿児島地方方法務局加治木支局を退職するまで

の三十二年間、法務畑一筋に務められてこられました。
内定の第一報を電話で聞いた時は、「嬉しいと言うより、私も叙勲の対象になる年齢に達したのかと、ちょっと寂しい気持ちになった」とか。
思い出は、どこの局でも大変いそがしかったこと、いそがしい合間をぬってボーリングに熱中したこと、何よりどこの職場でもすばらしい先輩同僚に支えながら何とか人並みの仕事でできたことだそうです。

「在職中は短期間の転勤の連続で、家族にとっては引越しまわたり、大きな負担だったにもかかわらず、何も言わず黙ってついてきてくれたことに退職後十四年たった今、改めてお礼を言いたい」としみじみ話してくださいました。
今後は、お客さんの意思にできるだけ誠実に応えることができれば、今の仕事を元気にいつまでも続けていきたいとも。
今後ともお二人のご活躍を期待いたします。

藍綬褒章

溝口宏二さん^{下新道} (61)



今回の受章を大変有難く、うれしく思います。それというのも、永い間地元・加治木町の皆様の応援の賜物であり、同時に家族にも感謝の気持ちでいっぱい

です。
父が戦死して五十五年、受章の十一月三日が誕生日の母は九十二歳、きつと喜んでくれると思います。ちよつと残念なことは、天皇陛下の拝謁の日が、私が会長を務める県開発促進協議会の総会と重なり、東京にいなから家内を連れて、宮中へ参内できなかったことです。
この春、第六十代議長に就任し、多忙な毎日ですが、片意地張らずに、真つすぐ立ち、ためらわず語り、力強く歩むをモットーに、議会の運営に務めています。

明治維新、戦後に次ぐ財政構造など「六大改革」は国のかたちを大きく替えようとするもので、国際化、高齢化が進む二十一世紀に向かって、鹿児島に住んで良かったという実感の持てる郷土づくりに、初心に返って一層謙虚に信念を持って、奉公したいと考えます。
今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をお願い致します。
原文のまま掲載いたしました。

平成九年、秋の褒章受章者と叙勲受章者が発表になり、加治木町から二人が選ばれました。
教育、社会福祉、厚生事業などの公共の利益に貢献した人を対象とする「藍綬褒章」に溝口宏二さん、一筋の道をこつこつと築き上げ顕著な功績のあつた人を対象とする「双光旭日章」に原口一郎さんがそれぞれ選ばれ喜びを話してもらいました。

人権擁護委員に

郡山政弘さん

須崎 (66)



須崎にお住まいの郡山政弘さんが、法務大臣から「人権擁護委員」に委嘱され十一月十四日、鹿児島地方事務局加治木支局長から十一月一日付けで委嘱状が伝達されました。

これは、六月議会の同意を得て町が推薦していたものです。
任期：平成九年十一月一日から平成十二年十月三十一日までの三年間
住所：木田一六十三番地一
よろしく願います。

監査事務功勞に對し

自治大臣表彰

新納さん・泉さん

県町村監査委員協議会は、地方自治法施行五十周年に当たり、永年監査事務に精勵し、地方自治の発展に貢献した人を対象に自治大臣表彰を行い、加治木町では新納正教さんと泉武磨さんのお二人が受賞されました。

新納正教さん

柳田 (79)



泉 武磨さん

鞍掛 (73)



昭和五十四年六月から平成三年六月までの十二年間にわたり、町の監査委員として在職し、公正で効率的な行財政運営の指導を通して町の振興発展と住民福祉の増進に貢献するとともに、定例監査等の各種監査の充実に務め、監査基準や監査調書様式の整備を図り、監査委員制度の適切な運営に努力されました。

昭和四十二年五月から昭和四十六年四月までの四年間、平成三年六月から現在に至るまでの通算十三年九か月にわたり、町監査委員として在職し、公正で効率的な行財政運営の指導を通して、町の振興発展と住民福祉の増進に貢献するとともに、定例監査等の各種監査の充実に務め、監査基準や監査調書様式の整備を図り、監査委員制度の適切な運営に努力されました。

1 月在宅医表

1	大井病院	加治木町本町141 ☎63-2291
2	加治木温泉病院	加治木町木田4714 ☎62-0001
3	ザ王病院	加治木町反土2151-1 ☎62-4611
4	加治木整形外科	加治木町港町147-2 ☎62-3711
11	松元医院(溝辺町)	溝辺町有川231 ☎59-2823
15	佐藤医院(溝辺町)	溝辺町有川327-2 ☎59-2607
18	池田医院	加治木町本町358 ☎62-2220
25	川畑内科	加治木町錦江町234 ☎63-1499

※診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。

日曜・祝日 歯科救急診療 9時～15時
郡歯科医師会館口隣保健センター
(☎0995-58-4388・溝辺町空港近く)

農林水産省では、毎年十月十八日を「統計の日」と定め、これまでの永年の協力者に対し、そのご苦労と功績をたたえるため感謝状を贈呈しています。



農林水産統計事務に對し

農林水産大臣感謝状

井手向實夫さん(井手向)

このほど我が町の井手向實夫さん(井手向)が、栄えある農林水産大臣感謝状を受賞されました。

井手向さんは、農林水産行政の基盤ともなっている、米政策等の基礎資料である水稻の作柄や収量の情報を、二十八年もの永きにわたって提供し続けられこのたびの受賞となったものです。

おめでとうございます。

社会福祉に貢献

児玉周子さんら六人に感謝状

鹿児島県と始良伊佐郡の福祉協議会は、平成九年度社会福祉大会を市民文化ホールと始良町中央公民館でそれぞれ開催し、大会の中で「永年にわたり社会福祉事業に従事し、その向上及び功労のあつた人」に感謝状をおくり労をねぎらいました。本町関係では六人が受賞されました。

〔鹿児島県表彰〕

児玉 周子さん

昭和五十五年四月から現在まで十七年間、加治木町母子寡婦福祉会会長を務め、他に始良郡・鹿児島県の会長・理事・監査役を務めました。

〔以下始良伊佐郡表彰〕

岩崎眞智子さん

昭和五十一年四月から現在まで二十一年四か月間、町内公立保育所の保母として勤務。

野下佳代子さん

昭和五十五年四月から現在まで十六年十一月、町内川野保育園の保母として勤務。

日高 敬子さん

昭和六十二年から現在まで十年六月、加治木望岳園看護婦として勤務。

佐々木千代さん

昭和六十二年から現在まで十年六月、加治木望岳園で寮母

として勤務。

三浦 弘子さん

昭和六十二年四月から現在まで十年四月、かずみ保育園調

理員として勤務。

皆さんの今後益々のご活躍をお祈りいたします。



児玉さん 日高さん 佐々木さん 野下さん 岩崎さん 三浦さん

龍門滝温泉 年末年始のお知らせ

12月31日(水)	6:00～17:00
1月1日(木)	6:00～18:00
1月2日(金)	6:00～18:00
1月3日(土)	6:00～18:00
1月4日(日)	6:00～22:00
1月5日(月)	定休日
1月6日(火)	臨時休業



平成九年度、優良PTAとして加治木中学校PTA（愛下一会長外八百四十五戸数）が九州ブロック協議会で表彰され、十月二十四日篠原教育長から表彰状が伝達されました。これは、県下の中学校でも珍しい取り組みの一つ「声かけおじさん制度」の活動や、地域社会との連携が評価され、このたびの受賞となったものです。おめでとうございます。

加中PTA表彰

「声かけおじさん制度」が評価

訪問歯科診療機器を寄付

有限会社 岩掃

町民がどこかで毎日お世話にならっている廃棄物処理と、水処理の有限会社岩掃（岩坪信吉社長）は、創業三十五年を迎えたのを記念し、歯科訪問診療機器のポータブルユニット一式を町に寄贈、十一月二十日贈呈式が行われました。

岩坪友則会長が「三十五年の節目の年に町民に感謝の意を表し、町民のために少しでも役立ててください」とあいさつ。宇都宮町長が「百年、二百年と栄えることを祈ります。そして社会に益々貢献してほしい。寝た

きりの人々のために大切に活用したい」とお礼の言葉を述べました。

今後、町では携帯用レントゲン撮影機や車イスに取り付ける安頭台などを購入し、今回寄贈された機器と合わせ寝たきり者の歯科保健の向上に努めていく計画です。

保健センターでは、歯科衛生士による在宅寝たきり者の歯科訪問相談を随時行っていますので、希望者はお気軽にお問い合わせ下さい。

☎ 6212111 内線502

まだまだ若いぞ

老人クラブスポーツ大会

秋真っ盛りの十一月九日、役

場グラウンドで第八回老人クラブ

連合会主催のスポーツ大会が行われ、ボール競技や風船割りで秋の一日を楽しみました。

この日は、町内四十単老の会員約七百人が七地区に分かれ、

八つの採点種目に我が地区の優勝をかけ、一生懸命競技してい

ました。

（成績は次のとおり）

優勝：城北・城西地区

二位：城東地区

三位：中央地区

四位：加治木小地区

五位：小山田地区

六位：錦江地区

七位：西別府・辺川地区



ハッスルプレー



大切にに使わせてもらいます

チャリティ・バザー 益金を寄付

社会福祉協議会に

NTTヤングエイド

社員と企業が一体となって地域に密着した社会貢献をしようと「NTTヤングエイド」（中野智之・加治木地区代表）が十一月十二日、町ふれあい物産館前広場でチャリティバザーを開き、その益金の一部を町社会福祉協議会に寄付しました。

これは、「アジア・アフリカの子供たちのために」を合言葉に、NTTの若い社員が中心になり、社員やOBに呼びかけ提供された品々を販売し、収益金等を「財団法人日本フォスター・プラン協会」を通じて、アジア・アフリカの子供たちの生活や教育に役立ててもらおうと毎年実施しているもので今年で十二回目。

今回提供された五百品目の売上金は十万円を超え、半分をフォスター・プラン協会に、半分会社会福祉協議会に寄付したものです。

大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



青空バザー



福祉のため役立てます

難病と戦い



菊づくり

宮脇利雄さん（小田倉）

あちこちで菊花展が華やかに行われている昨今、難病と戦いながら今年も見事な大輪の花を咲かせ、近所の人々の話題になっている人がいます。小山田の小田倉にお住まいの宮脇利雄さん（六歳）がその人。

手足や身体のおるえ、硬直などを特徴とする神経系の難病（パーキンソン病）と診断されたのが十五年前、菊づくりはそれから五年ぐらい前から自己流で始めたとのこと。

病気になるてからは、リハビリ

リをかねて今まで以上に菊づくりに専念し手足を動かすように努めてきたとのこと。二月ごろには腐葉土を取りに山に何回も登り、五月二十日に差し木、奥

さんの手を借りながら輪台の取り付け、日に二・三回の水やりをかかさずやったおかげで今ではりつぱに咲きほこり、その数十五種類四十九鉢。縁側から軒下まで所狭しと並べられ、訪れる多くの人々の目を楽しませています。

宮脇さんは、「来年も立派な



来年もまたきれいな花を

花を咲かせますのでぜひ見にきてください。体が動くかぎり菊づくりはつづけますよ」と元気に話してくれました。

植えた・刈った・落とした

古法で脱穀体験（永原小）

周りの田んぼがすつかり刈りとられ、朝夕がめつきり冷たく感じられるようになった十一月六日、永原小の四・五年生九人が足踏み脱穀機で稲落としの体験学習をしました。

「昔ながらの方法で田植え・刈取り・脱穀をさせることにより労働の大切さや、一粒の米のありがたさを身をもって体験してもらおう」と、PTAの協力で実現したものです。今回の先生役は菖蒲谷の上村富男さんで、米づくりの大ベテラン。四十年前に作られた文明式脱穀機でまずお手本を見せ、子供一人一人に手取り足取りしながら約二時間かけてもみ三十キロを脱穀しました。

学校では、餅つき大会を開き



きれいに落とせました

全員で食べる予定。今村佐保里さん（三年）と時任受里さん（四年）は「初めて体験したからおもしろかったです。これでおいしい餅が食べられます」と元氣よく答えてくれました。

アメリカ西部三州の研修報告



始良・加治木の未来を

語る経営者の会

始良町と加治木町の若手経営者十人が、今年六月アメリカ西部三州を研修視察し、十一月二十一日加音ホールでその報告会を開きました。

これは、「始良町の未来を考える若手経営者の会」（今井隆

三会長）と「加治木町P・E・Cの会」（福永和則理事長）が「ア

メリカでの感動を持続性のあるものにするために、また発表することにより各自が一層自覚を持つように」との願いで合同で行ったもので今年で、二回目。



報告会で

内容は、アメリカの高齢者たちだけで組織運営されているリタイアメントシティーの視察、地元若手経営者との意見交換などで交流を深めたことなどを、各自スライドを使いながら報告。参加者は質問をしたり、熱心に聞き入っていました。

心配ごと相談は

・毎週木曜日

（午前中）

・福祉センター





次世代に伝承しましょう

郷土料理教室

「先祖代々、祖父母や父母たちが食べてきた郷土料理を勉強し、次世代に伝承しましょう」と十一月七日、福祉センター調理室で平成九年度第三回「郷土料理教室」が開催されました。これは、外食産業やファーストフード店の進出により、手軽

に・早く・安く食べられる反面、おふくろの味を賞味できる郷土料理店が少なく、昔食べたことはあるのだが作り方がわからないとか、ぜひ勉強して子どもや主人に食べさせてやりたいという多くの声にこたえて開催されたものです。

今回のメニューは、「豚骨料理・からいもねーほ・さつまおすもじ・そば汁」の四品。受講生二十六人は、献立表と見比べながら、包丁を握ったり味見をしたり質問したりと楽しい雰囲気の中で調理し、昼ごろ四品が完成しさっそく試食。
一味ちがうおふくろの味に皆満足そうでした。



てきばきと料理

匿名でお願いくださったあなたにお答えします

加治木町長 宇都宮 明人

去る十月二十二日、「町を誇りたい住民の方」から匿名で次のようなお手紙をいただきました。

「住んでみたい町・加治木町」

①加治木駅前大通り四百m

・夜 歩いてみましたか
・昼

気づかないようでは？

②龍門滝温泉

喫煙優先か？

「町を誇りたい一住民より」

右のような内容でございましたので、おっしゃりたい事のすべてにお答えできるか、いささ

か疑問ではございますが、今後の考えと計画についてお答えします。
人・車道を取り巻く状況の変化は、現在の道路のあり方や整備水準および整備内容に対して様々な必要性が生じています。それらは、安全・円滑・快適という道路交通環境の基本要件との関係から見る必要があります。様々な必要性和道路整備とのへだたりを埋めるために、今後の交通需要の変化を取り込んだ交通安全対策が必要であり、運転者・歩行者・住民の特性に対応した施設の拡充、豊富さが

求められており、道路の高品質化の方向に進む必要を感じております。
これらのことから、本町では歩道の整備を重要課題として、毎年改良を加えております。
平成八年には、錦江駅から東への歩道の改良。平成九年度は、竹下踏切の改良を含む南北への西別府線の歩道の新設。その他国道・県道の歩道の改良。その他ほか網掛川沿いの歩道。江夏商店前から役場への歩道の新設改良等歩道設置につきましてはほぼ完了しておりますが、お尋ねの駅前大通りの改良も整備後三

十年経過し、歩道もだいぶ傷んでおりますので、十年度から三年をかけ、最新の工法で改良の計画をいたしておりますので今しばらくお待ちください。
龍門滝温泉の喫煙の件
一階ホールには改めて喫煙室を設置するようなスペースもないため、十二月一日からテーブルに禁煙席のプレートを立て、入り口から手前二つのテーブルを禁煙席、たばこが吸えるのは喫茶室と一番奥のテーブルに限定。さっそくテーブルに立てるプレートを作成し設置しましたので、皆様に協力を求め様子を

見守りたいと思います。
町としましては、今後、匿名での苦情や提言、意見等に対しましては、スペースの関係上正しく内容をきめ細かにお伝えできないことや、意見の食い違いをさけるため、広報紙等を使つての回答は差し控えたいと考えます。ご意見や苦情等があれば正々堂々と名乗り出てくだされば誠心誠意耳を傾け、お答えいたしたいと思っております。
十分な回答にはならなかったかもしれませんが、私は常に町民第一に考え、少しでも住みやすい加治木町になるように努力いたしてまいりたいと思っておりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

1月25日
町内一周
伝
町内一円

1月15日
成人式
加音ホール

1月12日
消防
初式防
役場グラウンド

危ない！火がついた状態での給油

石油ストーブなどの安全な取り扱い

ストーブなどの暖房器具を使うことが多くなる時期です。特に石油ストーブは各家庭などで使う頻度が高いもの——火事の原因にならないようにするために気をつけるのはどんなことでしょうか？

ストーブが原因の火災——七割が石油ストーブによるもの

毎年建物火災による死者の八割から九割が、住宅火災によるものです。平成七年（一九九五）中、住宅火災による死者は九百三十九人でした。そのうちストーブを原因としたものが百三十七人で、約一五%を占めています。

また、ストーブが原因の火災は二千七百七十一件で、石油ストーブによるものは、一千四百九十二件。全体の約七割に当たります。

危険！慣れから来る油断

石油ストーブは移動が簡単で操作もそれほど難しくないというところもあり、一般家庭、事務所、作業所などで暖房器具として広く使われています。

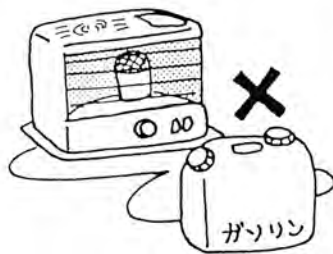
しかし、ストーブの使用場所の周囲に燃えやすい物を置かないようにするなど、火災に対する注意が必要です。

石油ストーブによる火災の原因としては、火をつけたままでの移動や給油、カーテンなどの可燃物との接触、使用方法の誤りや整備不良など、使う人の不

ストーブの火災を防ぐには

注意によるものが、多くみられます。慣れた器具の扱いだからこそ細心の注意を払うようにしましょう。

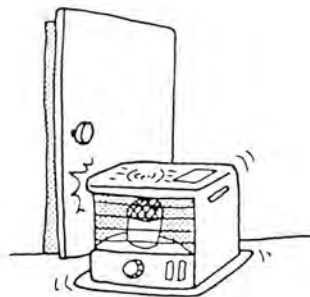
ストーブによる火災を防ぐためには、次の事項に注意します。■ストーブ使用中は給油や移動をしない。ストーブに適した燃料を使う。



■ふすま、障子などの燃えやすい物の近くでは使用しない。回りは常に整理清掃を怠らず雑誌などの燃えやすい物を放置しない。

■故障していたり、その疑いがあったりする物は、そのままだの状態で使用せずに、点検や修理をしたうえで使用する。

■地震などで転倒の恐れのある不安定な場所、部屋の出入口および通路などでの使用は避ける。



■地震で落下する恐れのある燃えやすい物の下に置かない。

■カートリッジタンク式の物はタンク給油後はふたを確実に閉めて、漏れないことを確認する。点火後は正常に点火し、燃焼していることを確認する。



■ストーブのそばでは、ヘアス

プレーなどの引火の危険がある物は使用しない。



■洗濯物を乾かすなど、暖房器具本来の目的以外の使用はしない。



■外出するときや就寝のときは、必ず火が消えていることを確認する。

■一酸化炭素などによる中毒防止のため、定期的に換気を行う。

■取り扱い説明書に記載されている事項を守って使用する。

知っていますか?「クーリング・オフ制度」 8日以内なら解約できます。

シリーズ
訪問販売

パート 3

悪徳商法にご用心

かしこい消費者に!



(解約通知例文)

契約解除通知

平成〇年〇月〇日、貴社セールスマン〇〇〇〇氏に勧められ、自宅において、商品〇〇〇(価格〇〇〇〇円)を購入する契約をいたしました。但し、貴社から贈与された〇〇〇〇を返却した上、〇〇〇〇円を返却したものとさせていただきます。

平成〇年〇月〇日

住所 〇〇〇〇

氏名 〇〇〇

宛先住所 〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇〇〇殿

「クーリング・オフ」とは、訪問販売で指定商品、指定権利、指定役務について、消費者が申込みや契約をした場合、その日を含めて8日以内に書面で販売店などに通知すると申込みの撤回や契約の解除が無条件でできる制度です。書面は簡易書留か内容証明郵便で通知すると確実です。

なお、店頭販売や通信販売には、このクーリング・オフ制度は適用されません。

クーリング・オフができない場合

1. 3,000円未満の現金一括払いのとき。
2. 化粧品や健康食品などの消耗品を使用してしまったとき。
3. 乗用自動車の契約。

訪問販売に関するご相談は

鹿児島県消費生活センター
鹿児島市名山区4-3 〒892
TEL (099) 224-0999

アポイントメント商法



タダより高いものはない



無料招待商法(展示会商法)

温泉旅行などに無料で招待すると人を集め、実はホテルで展示会を開催しており、着物やふとん、宝石などの高額な商品の購入を契約させます。

タダより高いものはないことを肝に銘じ、行かないようにしましょう。

私達の県母連が出来ましたのは、昭和二十九年五月で、先般四十周年の記念誌を発行致しました。会の先輩の方や町内の有志の方々に差し上げ、喜んで読んでいただき有難く思っております。

さて、二十一世紀も間近かに迫り、揺れ動く国の内外の情勢は私達の生活にも影響し、母子家庭や寡婦の生活は、厳しさを増して参りました。

また、本年は児童福祉法五十周年に当り、保育制度の改正が行われます。母親が安心して働くため子供を預けられる保育制度の改正を願っています。児童扶養手当も全国三千百億円にのぼるため、支給額、年令共に下げられ、離婚した父親から貰うようになるそうです。

町では、母子家庭の交歓研修一泊研修、若星の集い、若星の活性化事業、寡婦の研修などによりリーダーを養成し、介護技術やパソコンの研修、子供の健

寄

がんばっています

⑥

ふれあいの輪を

広げて

加治木町母子会

全育成のためすこやか講座などを通し、寡婦の豊かな経験と母子家庭若星の新鮮な感覚を生かし、母子寡婦の施策制度の周知浸透活用を図り、組織の強化活性化を心がけています。

しかし、入会していなくても入会者と同じ待遇を受けられまです。拘束されたくない気持ちの母子家庭が多く、寡婦も病氣入院や亡くなられた会員も昨年二百を越しておりましたが三月末減りました。本年度に入り五・六名人会され有難く思っております。

県の運動会、社協のスポーツ大会、女性団体としてのグラウンドゴルフ、女性大会などの行事にも参加し、いろいろな行事を行い、会が母子寡婦の心のよりどころとなり、ふれあいの輪を広げ、楽しく励まし合いながら幸せな人生を送りたいと思っています。

加治木町母子会 児玉周子



研修旅行



社協スポーツ大会

「加治木山林組合」株主申し出公告

昭和3年6月11日創立された「加治木山林組合」の株券をお持ちの方（相続人を含む）は、平成9年12月25日17時までに、加治木町役場総務課へ申し出てください。この期日までに申し出のない場合は、権利放棄とみなします。

これは、「加治木山林組合」の総会を招集するため、その株主を把握するものです。

加治木町役場総務課管財係 ☎62-2111（内線262）

*「加治木山林組合」とは、昭和3年、加治木工業高校の校舎建築費に充てるため創立されたもので、組合員の出資金から町に8万円を寄付し、組合員にはその代償として町から譲り受けた山林を経営し、これを処分した売得金を分配するようにしたものです。



こんな証書ありませんか

リックの

さく さく

(咲く・作?)

皆様こんにちは。こんなに重ね着をして良いのかと一瞬も悩むことなく、暖かければどんな格好でもヨカという季節となりました。皆様、12月はいかががお過ごしでしょうか。通勤だけがちょっときつかった私には「漕げば漕ぐほど暖かい」とでも名付けられる自転車暖房装置を発明してから私の12月も順調に進んでいます。人が思う程、私はこの季節は苦手でなく、かえって好きなのです。特にカメラにはまっている私にとっては雨上がりの冬空や海岸からの白波が最高。そしてそのすっきりした空の下でハイキング（言うまでもなく北極探検家の格好で）。家に帰ると（少なくとも日本では）鍋物・・・

さて、今年の冬は上記の意味では楽しんでいるわけですが、11月と12月も国際交流で充実した時間でもありました。町や各団体の行事と訪問、そして国際交流のイベント。11月の最初に先月の記事に書いた通り「親と子の国際交流のつどい・ハロウィン」が楽しく行われました。振り返ってみると反省すべきところも当然にあったと同時に本当に良かったと思うこともありました。このイベントは4歳から10歳の少年少女を対象とし、その最もわかりやすい目的は、西洋の子供たちが（皆ではないけれど）毎年とても楽しみにしている行事とその遊び方などの紹介をすることでした。確かにこの西洋行事の紹介も異文化として大事なことです、そのイベント自体のやり方までがより深い意味で国際理解につながる異文化の紹介にもなったと思います。というものの日本風とアメリカ風のイベントのやり方は完全に違うわけでもないけれども、私たちが企画していた段階では自分が育った環境からいくつかのアイデアを入れようと考えました。

一つは全体的にできるだけ自由で楽しい雰囲気を参加者に伝えたかったのです。具体的に言うと、イベントの後半「ゲームの時間」に8つ程のゲーム・コーナーを準備しておいて（各箇所外国人の付き人がいて）、そして子供たちがそれを思いのままに回るようにしました。気に入ったゲームがあればずっといてもそれは親子の判断になるという形でした。子供一人一人にそれぞれ性格や興味があって、その違いを十分認められるような雰囲気を作るのが最も大事だと考えて計画しました。

もう一つは、イベントの中で親子の間に普段と少し違った環境で交流が（国際交流に限らず）できるような行事にしたかったのです。そこで、去年とは変え、こちらで仮装に準備しておいたのは段ボールや色紙などの基本的なものに限ったのです。材料や道具もそのまま床に用意しました。しかし、「仮装」を作る時間となると同時に全員の創造力が働き始めた様子には本当に驚きました。親と子の間に見られた協力が気づいたのは私一人だけではなかったと思います。きっと手伝ってくれた外国人たち、このイベントを企画した人たち、そして参加者たち自身にも印象的な風景だったのではないのでしょうか。

今からの世代を担っていく子供たちの個性や才能を伸ばしていく方法は多種多様化しています。私たちの企画した様々なイベントなどでたくさんの子供たちが異文化を体で感じ取ってくれたら最高です。



十鳩

十鳩十追悼音楽会

大盛況に終わる

十鳩十先生没後十年に当たり
十鳩十文学祭と称し、三大大行事
を行った。

特別企画展・児童文学セミ
ナーin加治木・十鳩十追悼音楽
祭いずれも有意義に大盛況のう
ちに終わることができました。

町民その他多くの方々のお力
添えご協力に対し、心からお礼
を申し上げます。

ありがとうございます。

最後の行事であった追悼音楽
祭について報告申し上げます。

作曲家田端範子先生、木下岳
文先生、わざわざ東京からおい
でいただきました。十鳩先生の郷
里喬木村から記念館長市瀬尚夫
先生がご参席くだされ、感謝に
たえません。

さらに出演いただきました池
端ミチ子先生ほか多くの指導陣
の方々に對しまして、長期間
にわたるご配慮、お礼の申しあ
げようもないくらいです。

作曲者の、聴衆の心にひびく
感動を与える高尚な曲には、心
打たれました。

会が終わわりお帰りの折、アン
ケートをいただきました。二・

三ご紹介申しあげます。

* 十鳩先生のお人柄、作風が偲ば
れるほのぼのと心温まるすばら
しい追悼音楽会。ありがとうございます。

(鹿児島市 山下美代様)

* 作曲も歌もすばらしかった。
特に詩の朗読は十鳩先生のあたた
かなゆとりとしたお気持ちがあ
く伝わり感動しました。

(加治木町 杉田ミチ様)

* 「心の海」の曲がよかった。
子どもたちの合唱は、一段とよ
かったと思います。

これからも、心にしみ入る歌
を聞かせてください。

(隼人町 浜田 様)

* すばらしい追悼音楽会でした。
特に児童合唱がよく、感動しま
した。十鳩先生の心のやさしさ、
温かさが伝わってくる思いがし
ました。

(加治木町 宮路義和様)

その他多数。ありがとうございます
いました。

聴衆者三百名以上。聴き入る
マナー最高。児童コーラスこれ
からの充実を期待したい。

十鳩十文学記念館長 榎蘭高雄



結納の口上しかと菊日和

清麻呂の流謫の山河秋澄めり

岩山に驚の笛聞く小春かな

梢明かり玻璃戸に映る鹿の影

天高し手のひら鯛に塩ふつて

蕨養も秋つれづれや書を曝す

口笛やどんぐりの降る家に住む

川霧や忽ち孤独の人となる

いつの日か母となる娘や冬支度

下知きびきびどがに股に木の実

新割るや的外れたる地の悲鳴

小鳥来る写真ばかりの子の便り

台風過左官の弟子は茶髪の子

カヤツクの櫂のきらめき文化の

赤い羽根つけて園児は胸を張る

日

川畑 克己

柳田 稔

園田 千秋

岩田 美知江

始良郡1月眼科在宅医表

1	中村眼科医院	国分市中央3丁目 ☎46-0146
2	渡辺眼科クリニック	国分市中央1丁目 ☎45-6888
3	瀬戸山眼科医院	国分市中央1丁目 ☎45-0378
4	いちち眼科	国分市府中 ☎47-3618
11	西眼科医院	加治木町本町 ☎62-2526
15	椎原眼科医院	国分市広瀬2丁目 ☎47-2906
18	田中眼科医院	始良町宮島町 ☎65-3986
25	中村眼科医院	国分市中央3丁目 ☎46-0146

1. 在宅医は往診はいたしません。
2. 在宅医の担当時間は午前9時から午後5時までです。
3. 原則として緊急を要しない一般の患者はご遠慮下さい。

シリーズ

③

県から町へ

権限を委譲

来年4月1日から

今月号は「不動産登記法」の移譲事務についてお知
らせします。

★建設省所管の不動産に関する権利の登記の嘱託
(河川法第十六条の二より、市町村が行う河川工事
に係わるものに限り)

一・二級河川のある市町村で市町村工事に係わる建
設省所管の不動産の登記事務(県内には鹿児島市を
含む十四市七十六町村が対象になります)



親子映画鑑賞会

〔椋鳩十文学記念館自由の館〕

日時 1月25日(日) 10:11時

映画 笠地蔵・しあわせの王子

主催 加治木町親子映画会

※無料です。児童・生徒・親子

で多数ご鑑賞ください。

御寄付

香典返しのかわりに
御寄付をいただきました。
た。厚く御礼申し上げます。
ますとともに故人のご
めい福をお祈りいたし
ます。()は故人

社会福祉協議会へ

竹下 五万円

平野 秀

(夫 正男72)

楠園 三万円

西谷 幸子

(夫 三郎58)

高崎 五万円

川野 平二

(妻 クミ88)

市野々 三万円

大山 ナミ子

(夫 榮徳75)

葛蒲谷 三万円

蓬原 和子

(夫 隆雄64)

川内 三万円

東川内 クニ

(夫 壽男74)

二万円

畠中 信子

(夫 光男82)

楠園 五万円

増田 春子

(夫 徹志84)

うぶ声



出生児

保護者

自治会

尾上 和 賢至 原ノ門
脇園未菜 健二 郁文館住宅
江平悠人 敏郎 西江口団地
園田歩夢 哲朗 小陣
東 勇輝 克也 田中
酒匂智聖 哲郎 吉原
鶴留麻美 勝則 春日団地
八木達也 明和 楠園
藤井李奈 和己 内原田
重信 舞 裕二 岩原西三区

吉留辰哉 伸二 南塩入
吉永理沙 正行 田中
池澤 亮 誠 東塩入
有川真央 俊 蔵王団地
岩下 歩 久義 里ノ下
黒田雄太 雄博 吉原
野口裕樹 純二 原ノ門
岩澤耀子 浩二 原ノ門
徳永恵美 光博 西町
森園美織 一美 岩原西二区
東 優樹 正行 西江口団地
江口智也 誠 高井田
池田しおり 健二 反土黒川
▽十一月二十日までに住民台帳
に記載された方を掲載いたしま
した。

楠原 三万円

榎田 シヅエ

(夫 侃 82)

竹下 二万円

松永 岩雄

(母 モヨ 87)

加治木町老人クラブ連合会へ

楠原 三万円

榎田 シヅエ

(夫 侃 82)

特別寄付

十万円

壹岐亮朗様はかご兄弟一同様

▽九月二十日までの御寄付を掲
載いたしました。(年齢は満年
齢)

ぜんざいケーキ

料理名 ぜんざいケーキ
材料費(4人前) 300円
所要時間 45分

〔材 料〕(4人前)(ハート型10個分)

・ごはん 200g ・B.P. 小1
・小麦粉 80g ・サラダ油 50cc
・砂糖 60g ・卵 3個
・ゆであずき 1缶(210g)

〔作り方〕

- ①小麦粉にB.P.を入れてふるいにかける。
- ②卵を泡立て、砂糖、①、ごはん、あずき、
サラダ油の順にまぜながら入れる。
- ③型に流し入れ、170℃で30分焼く。
途中(15分)で飾りにあずきを乗せる。

レトルト食品や、冷凍食品、
またファーストフード店の進出
により、手軽に、安く、食する
ことが出来る今日、食卓を手作
りの料理でかざることが少なく
なってきたのはどの家庭
でも同じではないでしょうか。
そこで、少しでも料理の参考
になればと今月からシリーズで
「かじき秋まつり」で募集した
手作り「米料理」コンテストの
入賞作品を紹介いたします。



おいしそうですね!!

シリーズ

①

あなたも作ってみませんか?



川原さん

今月は、最優秀作品で川原
ときよさんの「ぜんざいケーキ」
を紹介いたします。
あなたもぜひ挑戦して、食卓
に並べてみませんか?